

シーバード設置会合 浜松市

公益財団法人 浜名湖総合環境財団会議室

12月11日午前10時半～12時

参加者

常務理事 徳田晴紀

主任 中西寛将

シーバード御前崎 野口貴史



浜名湖総合環境財団へのシーバード活動の協力とお願いを行い、現状の浜名湖における意見交換、

今回伺った背景には、遊船組合をはじめとする漁協さんも協力的であるという事を伝え

そして水上バイクがパトロール艇として必要であるという事をご説明させて頂きました。

シーバード受け入れ母体となるには海水浴場等の監視業務は本来ない為、定款変更などがいるので、理事会や総会での決議等が必要なため、残念ながら簡単にはできないという事。

但し、シーバード艇を安全啓蒙に使うなど、水上バイクの遊走区域外となる弁天島周辺でも許可を下りるように協力して頂けるという事。今まで全く水上バイクでの安全啓蒙は許可が下りなかったが、大きな進展につながりました。

遊船組合及び浜名漁協での説明

12月11日午後3時～

参加者 弁天島遊船組合 組合長 間瀬泰成

浜名漁協 総務課 課長松田守弘

浜名漁協 理事・及び会員の皆様 30名程

浜松市まちづくり推進課 主任 伊藤とも子



弁天島付近における水上バイクの社会貢献及び利便性を説明させて頂きました。

御前崎の渚の交番 及び シーバード御前崎について説明をさせて頂き、シーバードが浜松で発足する際、協力をして頂ける様をお願いしてきました。

水上バイクがあれば砂浜に漁船等が乗り上げた場合もロープ等の救出資材を運ぶことができ、今まで大きなタグボートなどを呼んでいた事例は、仲間内でのレスキューが可能になるという利点を説明させて頂きました。

前もって間瀬様から説明も聞いて頂いていたようで、特に大きな質問もありませんでした。

今回の結果

今まで、不可能と言われていた。弁天島付近（今切り口を含む）水上バイクでの活動も、漁協さんの力を借りる事で、活動可能と思われる所まで、進展しました。今後は受け入れ母体の調整が必要となります。

浜松LSCのが母体となるか？協力団体となるか？市を交えることで来年度、再来年度に向け話が進むと思われます。